

平成29年度 中濃支部「リハビリフェア」活動報告

日時：平成29年6月25日(日) 13:00~16:00

場所：ラスパ御嵩 1F ラスパコート奥

スタッフ：10名〔 JCHO 可児とうのう病院 リハビリテーション科 8名
可児とうのう病院 附属介護老人保健施設 2名 〕

協力企業：JA めぐみの介護サービス可児・中濃営業所様 3名

平成29年6月25日、可児郡御嵩町にある「ラスパ御嵩」にてリハビリフェアを開催いたしました。御嵩町でのリハビリフェア開催が初めてということもあり、どれだけの方に足を止めていただけるのか、話を聞いていただけるのか見当がつかない状況で探りながら、当日の準備やシミュレーションを行って参りました。



活動内容は「ロコモ予防で健康長生き！」をテーマに作成したロコモティブシンドロームについてのパンフレットを配布し、「立ち上がりテスト」「2ステップテスト」「ロコモ5」のロコモ度テストを実施しました。そして、その結果をもとにロコモを予防するために普段の生活からできる対策や運動方法を説明致しました。また、JAめぐみの介護サービス様にもご協力をいただき、自宅で利用できる福祉用具を中心に最新の電動車椅子や歩行車なども展示していただきました。

集客には難渋しましたが、パンフレットの説明・配布は60名程度、ロコモ度テストには10歳以下から90歳以上の方まで幅広い年齢の方々26名に参加して頂きました。参加者一人一人にスタッフが

付き、測定結果やロコモ予防の説明は笑顔で丁寧に行うよう、スタッフ一同心掛けました。

実際に参加された方の中には、思ったより大変だったことに驚かれる方や、テスト後に熱心に説明を聞いて下さる方が多く、実際に体験することで足腰の健康や予防に興味を持って頂けたのではないかと思います。また、ご家族やご夫婦で測定結果や資料を見ながら「これから気を付けないといけないね」とお話をされている姿も印象的でした。

今回、このような機会をいただき一般の方に理学療法について伝えることの難しさを感じました。これからも理学療法で地域に貢献できるように、より多くの方に伝えられる方法を模索し、今後へ繋げていきたいと思っております。

最後に、このような機会を与えて下さった中濃支部長 郡上市民病院 矢野先生、快く会場を提供して下さいましたラスパ御嵩様、貴重な時間を割いてご協力下さったJAめぐみの介護サービスの皆様と当院スタッフの皆様がこの場を借りて感謝の意を申し上げます。



独立行政法人地域医療機能推進機構

可児とうのう病院 リハビリテーション科

古田 和希